

インピーダンス

日本共産党通研支部 <http://impedance.sakura.ne.jp>
jcp.impedance@gmail.com

No. 2725 2025年 6月2日
 定価 1部 10円



コメ問題 減反・減産から転換し コメ大量増産と所得補償を

生産と在庫量が足りていないのかたくなに認めない政府。とうとう備蓄米の放出となりました。緊急策だけで解決となりません。問題の第一は、自民党農政が農家に減反・減産を押しつけたこと。

店頭からコメが消えました。第二は、民主党政権が創設したコメ農家への所得補償(10アールあたり1万5000円)を全廃して年間1500億円近い所得を全国のコメ農家か

ら奪いました。第三は、農家に減産を強いながら20年間、毎年77万トンも輸入してきました。日本共産党の田村智子委員長は5月29日会見で、「これら三つの問題をすべて転換しなけ

ればならない」と主張。小泉進次郎農水相は「増産を言うけど増産目標を示していない」と指摘し、「大幅な増産へ



と転換し、ゆとりある需給・備蓄計画を立てる」「200万トン以上の備蓄を見込んで増産を求めていく」と表明。また所得補償は作付け

規模の区別なく多様な稲作経営を支援、価格保障もあわせて求める」と主張しました。

日本学術会議法案 学問の弾圧 戦争への道 教科書ネットが声明

子供と教科書全国ネット21は、「日本学術会議法案」の衆院可決



に抗議し、参院での廃案を求める声明を発表しました。

「学問の自由」を弾圧する狙いが明らかだと述べています。

の削減要求。「大学への不当な介入だ」「数千億円規模の補助金を凍結している」「ハーバード大学の学長は、大学の価値を守ると法廷闘争を始めた」

大相撲、大の里が横綱に。「初土俵から2年

米所は手が出せない」「農水省の発表では4285円と高止まりのままだ」

大川原化工機えん罪事件。「二審に続き、高裁でも逮捕・起訴は違法と認めた」「判決は国と都に賠償を命じ、慰謝料も増額した」「原告の弁護士は『事件のねつ造を認めたと評価できると思う』と述べた」

トランプ大統領がハーバード大に留学生

【つらへ続く】

この法案によって作られる新たな「日本学術会議」は「運営・財務・会員選考の全ての面において政権の管理統制下に置かれ、政府や財界の意に沿って活動する、現在とは全く別の組織に変質させられてしまう」と強調。政府が「特定のイデオロギーや党派的主張を繰り返す会員は解任できる」との答弁を繰り返

していることを指摘し、「教科書の自由」を弾圧する狙いが明らかだと述べています。教科書検定でも政府に都合の良い記述への修正を求める検定意見が目立っていると、学術や教育を政府の管理統制下に置くことが戦争への道につながる。これが歴史上の事実だとして法案に「断固反対」を表明しました。

今週の数字

都区部消費者物価指数の月別推移



都議選の争点 賃上げ

共産党の提案で動き始めた 中小企業の賃上げ支援

東京都の事業所の98・8%が中小企業・小規模事業者であり、その賃上げが重大な課題です。日本共産党都議団は、賃上げを行った中小企業に1人当たり年間12万円を支援するという「緊急提案」を発表。期待と共感が広がっています。

小池都知事は当初、賃上げは「労使間の協議で自律的に」決める

こと、と冷たい姿勢でしたが、日本共産党都議団が繰り返し論戦を行った結果、2022年9月補正予算から、中小企業の職場環境改善のための奨励金事業に「賃上げ」も対象とし、25年度から1人当たり年6万円から12万円に増額しました。

ただし、この事業は支給まで1年以上かかっています。党都議団は賃上げだけを要件とする「中小企業の賃

【職場からの続き】

あまりと史上最速だ」「明るい話題を届けられたと思うので、さらに頑張りたい」と述べた

卓球世界選手権。「男

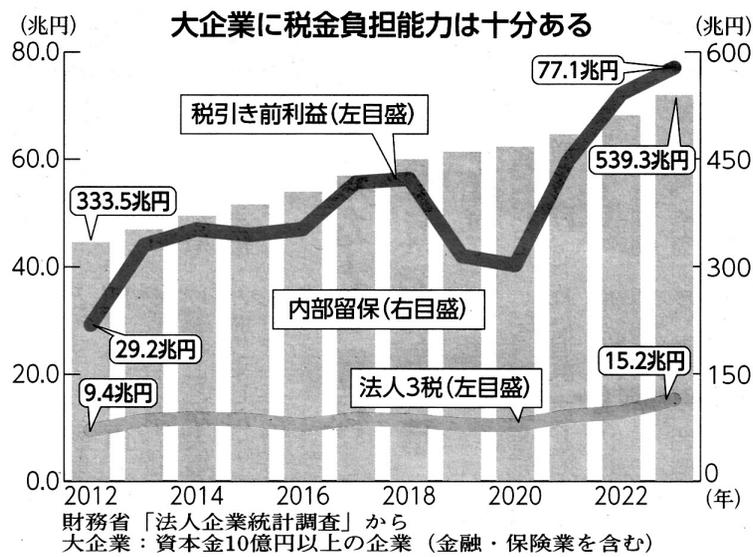


上げ応援助成金事業」の実施を提案し、実現を迫っています。

大企業には十分な担税力 消費税減税の財源に

世論調査では国民の7割が消費税減税を求め、同時に7割が「財源を明らかにすべきだ」と答えています。

共産党は一律5%への減税(平均的な勤労者世帯で年間12万円)を提案。大もうけしている大企業と富裕層に自分の負担を求めます。大企業への減税と優遇の結果、この11年間で利益は2・6倍の77・1兆円へ、内部留保は539・3兆円へと空前の規模に膨れ上がっています(図)。にもかかわらず大企業は中小企業の半分しか法人税を払っていません。大企業には十分すぎる担税力をもっているのです。



ジュンベリー (アメリカザイフリボク)

魅力ある赤い実を付けるジュンベリーを近くで見つけた。黒く熟すと甘く食べられる。名前がすてきで近所の方は実を摘んでジャムにしている。以前に亡き妻の友から枝を贈られ、描いたことがある。(W)



土の融解も指摘されている

「アジサイの花が咲

う」 × 「週末は寒い」「低気圧の通過と北東からの冷たい風の影響のよう

投書

水道老朽化！ローマの二の舞いだ

ローマ帝国が減んだ理由に、道路や水道などのインフラ維持の困難が軍事力や経済力の低下とともに上げられている。

最近、水道老朽化による事故が頻った。老朽化率は全国平均22%。この補修は市町村の負担で、水道料金の急騰が庶民の暮らしを圧迫。財政力の強い東京都でも水道料金引き下げは強い要求だ。軍拡でなく、水道などインフラ整備に優先して予算を回すべきだ。ローマ帝国の二の舞にしてはならない。(E)